



# 環境と共生

平成 24 年 4 月 10 日発行 第 25 号

発行：環境 21 世紀の会 編集：事務局 有村親雄

住所：〒277-0042 柏市逆井 4-9-5 TEL：04-7174-2135

ホームページ <http://members3.jcom.home.ne.jp/kankyo21c/>

## 何故、第二清掃工場(南部クリーンセンター:南部 CC という)の焼却灰の放射線量は高いのか。

南部 CC は、平成 17 年に稼動を開始しました。最新式の設備でダイオキシン類の対策は完璧です。また、焼却方式も最新式のもので、溶融飛灰固化物の灰の量も極端に少ないのが特長です。

平成 22 年度の南北 CC に於ける焼却実績 単位：トン

	可燃 ゴミ	粗大、 その他	焼却量 計	焼却灰等 の量	焼却灰等 の比率
北部 CC	40,068	9,841	49,909	5,599	11.20%
南部 CC	39,266	164	39,430	306	0.78%

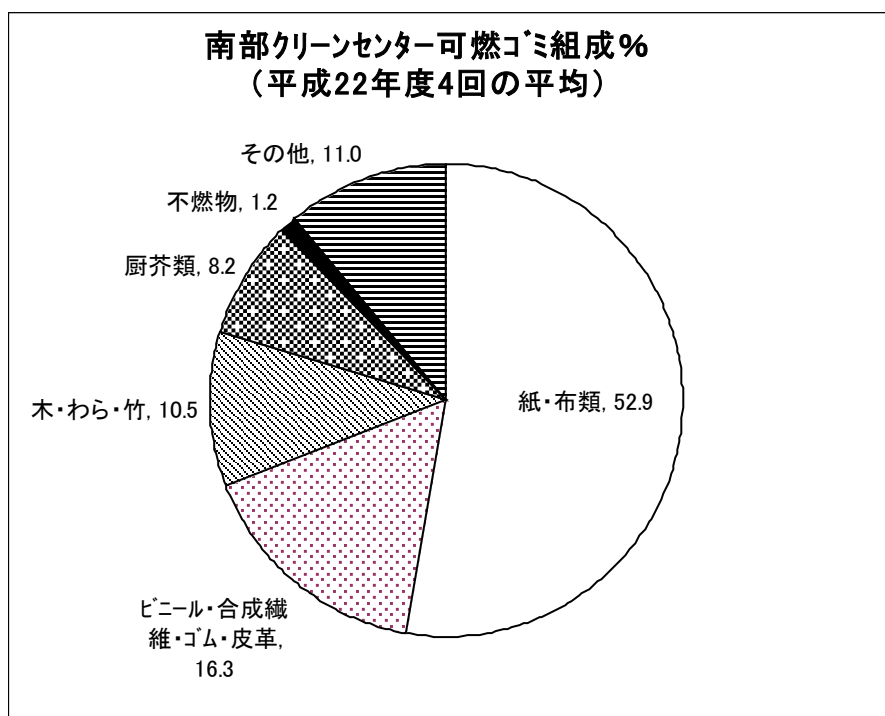
上の表に分かるように、北部 CC の焼却灰等は、焼却量に対し、焼却灰等の比率は 11.2% ですが、南部 CC では、僅か 0.78% です。即ち、南部 CC は十二分に焼却されており、灰の量が、北部 CC の 1/10 以下であり、その結果として、放射線量が焼却灰に 10 倍以上に濃縮されます。

昨年、北部 CC の焼却灰の放射線量は、2,250～3,420 ベクレル/kg で推移しました。それに対し、南部 CC の焼却灰の放射線量は、最高値 78,000 ベクレル/kg を除けば、29,100～66,100 ベクレル/kg でした。即ち、南部 CC の焼却灰の放射線量は、10 倍以上に濃縮されていることが分かります。

## 草木・枝葉を分別しても、焼却灰の放射線量が高いのか

南部 CC では、今年は 1 月 5 日以降、運休していましたが、3 月中旬以降に動き出しました。昨年 9 月以降も 2 ヶ月間程度運休していました。稼動の際には、汚染源となっている「草木・枝葉」を分別し、焼却除外物としていますが、何故、焼却灰の放射線量が高いのでしょうか。草木・枝葉も分別しても、一部を混合して焼却していることも考えられます。

下の図は、南部CCの平成22年度可燃ゴミの組成%のグラフです。「草木・枝葉」は、「木、わら、竹」或いは「その他」の範疇が分かりませんが、可燃ゴミの組成を元に、汚染源の原因調査をすることが重要と思われます。多分、厨芥類も高濃度に濃縮されて汚染源になっていることも考えられます。その為には、可燃ゴミの種類と焼却残渣量の関係を明らかにすると共に、その焼却残渣量の放射線量を測定すれば、第二の汚染源を究明することができます。



表・図の出所：平成22年度版 柏市清掃事業概要

以上

#### 環境21世紀の会の事業

各種調査研究、政策の提言、行政への請願、各種申入れ広報活動及び講演会の実施、共通する他団体との協調・連携を事業とし、環境との共生を考え、活動しているボランティア団体です。

#### 環境21世紀の会 会員募集

ひっばくする環境問題、生活者の側からどう捉え、どう考え、どう実行に移すかが問われています。会員を募集しています。

申込み等は事務局（〒277-0042 柏市逆井4-9-5、有村親雄 TEL:04-7174-2135）にお問合せ下さい。